

芸術科（書道）学習指導案

指導者 ○○ ○○

- 1 履修単位数 2単位
- 2 実施日時 令和7年11月19日(水) 第2時限
- 3 学 級 ○○HR (○名)
- 4 使用教科書 書I (光村図書)
- 5 単元(題材)名 「漢字仮名交じりの書について」
- 6 単元設定の理由

(1) 生徒観

(中略)

書道入門期においては、さまざまな書風を持つ古典作品を臨書することで基本的な筆使いや字形について学んだ。また楷書と行書の単元において漢字の書体・書風による書き分けの技能を身につけてきた。しかし、これまで漢詩を題材にした作品制作に取り組んでいたため、書かれた言葉の内容や言葉に込められた書き手の思いについて深く考える機会がなかった。

(2) 教材観

本単元は、「学習指導要領B鑑賞(1)鑑賞イ(ア)線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解すること及びA表現(1)漢字仮名交じりの書ア(イ)目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫すること」を受けて設定した。本教材では一目で書かれた文章の内容を理解することができる「生きた言葉」を表現した漢字仮名交じりの作品を取り扱う。それにより、書かれた内容についてより親身に捉え、表現の工夫によって言葉の意味を強められることを感じ取ることができる。また、内容に基づいて表現意図を考えたり書を構成する要素を工夫したりする力が身につけられる。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、漢字と仮名の調和した字形や文字の大きさ、線質、構成等の要素と表現効果について理解し、意図に基づいて表現する力が身につけられるよう指導する。そこでまずは、近代の書家が「雪」をテーマに制作した作品を3点提示し、作品を造形的な視点から捉えさせる。その後、全員共通の題材「雨が降っている」を用いて自身の制作意図に応じた表現ができるよう指導する。

7 単元の目標

- (1) 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解する。(知識)
目的や用途に即して効果的に表現する技能を身につける。(技能)
- (2) 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 書のよさや美しさを味わい、作品や書の価値とその根拠について考えながら表現及び鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとする。(学びに向かう力、人間性等)

8 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解している。 ②目的や用途に即して効果的に表現する技能を身につけている。	①漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。	①書のよさや美しさを感じ取り、その根拠について考えようとしている。 ②作品をよく観察し、作品の制作意図を見出し、主体的に取り組もうとしている。

